

## ビートルズと高齢者

浅田真央とキム・ヨナの女子フィギュア対決で、最後にちょっぴり盛り上がったバンクーバー冬季オリンピックも終わりました。日本選手団は、銀3個・銅2個の成績を収めました。前回のトリノでは、荒川静香選手の金メダル1個だったことを思えば、よく頑張ったと言えるかもしれません。

金メダルが全てではありませんが、日本には他の国を寄せ付けない堂々たる世界ナンバーワンがあります。それは日本人の平均寿命(女性)と高齢者比率と高齢社会から超高齢社会への移行のスピード(年数)です。ただ、ここでもお隣の「韓国」や「中国」が猛烈な勢いで追っており追い越されるのは時間の問題と言われていますが。

今、現在高齢者は5人に1人の割合ですが、2014年には4人に1人(3人で1人を支える騎馬戦の状態)から2人に1人(肩車状態)になると予想されています。ですから今、今後の日本の国のあり方を、もっと真剣に議論し検討をすることが最重要課題なのではと思います。

高齢者の線引きは65歳となっています。以前にもこの「向陽介護便り(第9号)」で書きましたが、65歳以上の人口比率で高齢化を論じ始めたのは、1956年の国連の報告書あたりから。当時の日本人の平均寿命は男性64歳、女性68歳で、特に違和感はなかったと思います。

ビートルズに「When I'm Sixty-Four(僕が64歳になっても)」という曲があります。この曲が収録されたのは、1966年の日本公演の翌年、1967年です。少子高齢化問題は、まだまだ先の問題と思われていた時代でした。

このビートルズに夢中になったのはいわゆる「団塊の世代」です。後、5年もすれば、ビートルズ世代が大挙して65歳越えします。

厚労省や様々な機関が高齢問題を検討する際に、2015年や25年の年が用いられるのは、団塊の世代が65歳、75歳を迎えるからです。

今の民主党鳩山内閣は、まさに団塊の世代が主流を占めており、(閣僚17人中6人)「団塊内閣」とも言えます。

国の舵取りを任されたこの内閣、Let it be(なるようになるさ)

でも Hey Jude(神)にHelp!

(助け)を求めるともなく、

自分達の世代の問題と捉え、きちんとした方向性を示してほしいものだと思います。

64歳になっても、70歳になっても、80歳、90歳を超えても必要としてくれる社会でありたいと願うとともに、十分なケアがされる国として金メダルを取れたらと思います。

### When I'm Sixty Four

When I get older losing my hair  
Many years from now  
Will you still be sending me a Valentine  
Birtthday greeting,bottle of wine  
If I'd been out till quarter to three  
Would you lock the door  
  
Will you stil need me  
Will you stil feed me  
When I'm sixty-four  
  
You'll be older too  
And if you say the word  
I could stay with you  
  
.....(略).....

### 僕が64歳になっても

歳をとって僕の髪の毛がなくなっても  
まあずいぶん先のことだけど  
僕に送ってくれるかなバレンタインカードや  
誕生日カードやワイン一瓶とか  
もし夜遊びして2時45分まで帰ってこなかったら  
ドアをロックしてしまうのかな  
  
まだ僕を必要だと思ってくれるのかな  
まだ僕の飯の支度をしてくれるのかな  
僕が64歳になっても  
  
君だって歳をとる  
もし、居てくれと言えば  
君と一緒にいられるんだけど